

平成 29 年 第 2 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

6 月 16 日 午 前	<p>山 戸 重 治 議 員 (市 民 連 合) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p>
	<p>1 尾道イーストサイドの再生について (1)「賑わい創出事業」「拠点施設リノベーション事業」「まちなみ再生事業」「新開地区空き店舗活用事業」の進捗状況と今後の見通し、およびその効果は (2)市街地東側エリアの名称を例えば、「尾道イーストサイド」とし、新開地区や本庁舎整備を含めたまちづくりの方向性を「尾道イーストサイドストーリー」と銘打つなどイメージを具体化して進めてはどうか (3)空き家再生プロジェクトがスタートして以降、その再生物件は何件か、その移住や雇用効果およびイメージの波及効果をどう分析しているか (4)新開地区の空き店舗調査はいつ、どのような方法で行ったか、その結果、総店舗数と空き店舗数はどうか。空き店舗率は何%か (5)「尾道イーストサイド」でのゲストハウスの展開に向け主体的に民間事業者と連携する考えはあるか (6)「尾道イーストサイド」エリアの少子高齢化・空洞化対策への平谷市長の決意は</p> <p>2 尾道市新本庁舎整備事業について (1)新本庁舎建設工事において、市内経済の活性化につながる配慮はしているか (2)分離発注方式とした理由は何か (3)新本庁舎建設工事の資器材調達で、地元業者から納入努力はどのようにするのか (4)日本遺産に認定された区域の中の工事であることから囲いなども景観への配慮が必要と思うがどうか (5)分庁舎の跡地には、多くの駐車台数が確保できる立体駐車場を整備すべきではないか</p> <p>3 地産地消と学校給食について (1)尾道市教育委員会、食育推進委員会、尾道スローフードまちづくり推進協議会は学校給食における市内産、県内産食材の優先的使用に向けてどのように連携してきたのか</p>

- (2) 学校給食の食材納入業者に対して市内産、県内産の食材使用向上に向けてどのような取り組みをしてきたのか
- (3) 学校給食において、市内産、県内産の食材使用率は、近隣他市比較してどのような状況にあるか、実態把握はしているか
- (4) 学校給食における市内産の食材使用向上に向けて、JA 尾道市をはじめ生産農家等と直接取引をする体制を確立すべきだと思いがどうか
- (5) 尾道スローフードまちづくり推進協議会が初めて出店する「第3回全国ふるさと甲子園」の概要と初出店の経緯について
- (6) 該当するロケ地、ご当地グルメとドラマの関係について
- (7) 今回の出店で、どのような効果を期待しているのか

4 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿について

- (1) 5月25日の広島県とメキシコオリンピック委員会の協定式に出席した市長は、どのような内容でメキシコの関係者へアピールしたのか
- (2) 事前合宿誘致の目的や、希望している競技種目とその選定理由について
- (3) 今年1月にメキシコのオリンピック委員会の役員が視察した尾道市の競技場はどこか。その時の反応はどうであったか
- (4) 国が行う「ホストタウン」への尾道市としての登録や財政支援はどう考えているか
- (5) 尾道市には、広島県が東京オリンピック・パラリンピックに向けて進めている「ジュニア選手育成強化事業」の対象となる選手はいるのか
- (6) 尾道市は、市あるいは県や国の代表としてスポーツ大会に出場する選手へどのような支援をしているか